

港区西築地学区

震災避難行動マップ

わが家の津波避難先

- ①
 - ②
- 各家庭で津波避難先を書き込みましょう

凡例

- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 一時避難場所
- 地下式給水栓

津波避難ビル

施設名称・マンション名	所在地	階層	収容人数
西築地小学校(本館棟)	浜一丁目2-33	3	714
西築地小学校(北校舎棟)	浜一丁目2-33	3	173
港消防署本署	千鳥一丁目11-19	3	453
入船荘	入船二丁目1-5	11	404
築地シティ住宅	名港二丁目9	12	408
宝来荘	千鳥一丁目12-3	8	234
名古屋港湾合同庁舎本館	入船二丁目3-12	9	138
名古屋港湾合同庁舎別館	入船二丁目3-12	8	85
名港ビル	入船二丁目4-6	9	350
第2名港ビル	入船二丁目2-28	6	400
医療法人杏園会 介護老人保健施設 トリトン	西倉町1-14	5	160
宇佐美ビル	浜一丁目1-14	4	108
名古屋港管理組合本庁舎・名古屋港湾会館	港町1-11	12	1,660
ハーバーロッジなごや(名古屋船員会館)	入船一丁目6-3	5	320
丸美ロイヤル港	千鳥一丁目13-12	14	350
臨港病院	名港二丁目9-43	8	43
医療法人東樹会 あずまリハビリテーション病院	入船二丁目1-15	5	851
カーサジマーレ	名港二丁目8-1	10	88
愛知海運(株)本社	名港二丁目9-31	4	84
名古屋港福利厚生会館	名港二丁目3-22	5	1,874

道路閉塞確率について

南海トラフ巨大地震における被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)をもとに、建物の倒壊によって道路がふさがって通れなくなる可能性を評価したものの。
 ※詳細は名古屋市「震災に強いまちづくり方針」の解説(P16-20)を参照ください。
 ※建物データ:平成23年度建物用途別現状調査

道路閉塞確率

	70%以上
	40%以上~70%未満
	20%以上~40%未満
	20%未満

平成30年7月豪雨災害を踏まえ、「災害発生情報(*)」が新設されました。
 ※「災害発生情報」…災害が実際に発生していることを把握した場合に発令

避難情報	警戒レベル	とるべき行動(市からの伝達内容)
災害発生情報	5	命を守る最善の行動をとってください。
避難指示(緊急)	4	緊急に避難を完了してください。避難場所への避難に限らず、近くの安全な場所や屋内の高いところに避難してください。
避難勧告	4	速やかに全員避難してください。避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所や屋内の高いところに避難してください。
避難準備・高齢者等避難開始	3	お年寄りの方など避難に時間のかかる方は、避難を開始してください。それ以外の方については、気象情報を注視し、避難の準備をしてください。

気象台が発表する早期注意情報が警戒レベル1、注意報が警戒レベル2となります。

避難生活 指定避難所

施設名称	所在地	避難場所	収容人数
西築地小学校	浜一丁目2-33	体育館 トワイライトプレイルーム1	316
西築地コミュニティセンター	浜二丁目10-31	会議室A 会議室B	39
名古屋港管理組合本庁舎・名古屋港湾会館	港町1-11	第一会議室	144
愛知海運(株)本社	名港二丁目9-31	会議室	75

指定避難所	災害が落ち着いた後、自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るための施設
指定緊急避難場所(津波避難ビル)	命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所



地震発生！災害時の対応

港区西築地学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、最大で震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。自分の身を実守るため、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。

また、津波が他の地区よりも早く到来します。名古屋港には最短 96 分(※)で津波が到達し、その後最大 3.6m の津波がさかのぼります。津波が見えてからでは避難が間に合わないので、限られた時間を有効に使って津波避難ビルへ避難しましょう。

液状化現象も起きる可能性も高く、建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出したりして通れなくなる恐れがあります。これらを踏まえ、適切な避難先、そこまで安全にたどり着くための経路を日頃から考えておきましょう。

(※)30cm の津波が到達する時間であり、速い流れに巻き込まれて流される可能性があります。

<津波避難ビルに避難される方>

津波の浸水想定区域外に避難するいとまがない場合には、お住まいから近くの津波避難ビル(津波に対する指定緊急避難場所)へ避難してください。

<津波避難ビルにお住まいの方>

伊勢・三河湾に大津波警報が発表された場合等において、切迫した津波被害から逃れるために住民の方が緊急避難を行います。一人でも多くの命を守るため、ご理解とご協力をお願いいたします。

津波避難のポイント

1. 徒歩で避難を
原則、車で避難しない。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになる。



2. 海岸や川沿いには近づかない
地震の後には、護岸や堤防が被害を受けている可能性がある。非常に危険なので近寄らない。



3. 寄り道はしない
津波からの避難は一刻を争うため、家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、周囲に声をかけながらまっすぐ避難先に向かう。



●身の安全の確保

- ・倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
- ・机の下に隠れて、低い姿勢で身を守る
- ・安全に消せる場合は火を消す
- ・可能であれば、扉を開けて出口を確保する
- ・屋外にいる場合は、建物やブロック塀など、倒壊の危険がある場所からすぐ離れる

●家族、隣近所への声かけ、安全・安否の確認、情報交換

- 家屋、近所の被害状況、危険度の確認
- 火元を消す・ブレーカーを落とす
- ガス・水道の元栓を閉める
- 扉を開けて出入口の確保
- テレビやラジオ等で正しい情報を収集

3階以上にお住いの方は、一人で避難できない方を助けたら「在宅避難」を！
避難してくる近所の住民を快く迎えましょう



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

揺れがおさまった

津波避難ビルを
目指して
避難開始

- 逃げ遅れないように早めの避難開始
- 隣近所へ大きな声で声かけしながら、あらかじめ決めた津波避難ビルへ避難
- 持てる量の非常持出袋を持って避難
- 落下物など周囲の危険に気をつけて避難

津波警報解除
避難勧告解除

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

- 在宅避難
- × 避難所等*へ

*避難所は西築地学区災害対策委員、市職員、または施設管理者が施設の安全確認をした上で開設する。

地震発生